

産業能率大学 経営学部

2年次ゼミ I (キャリア設計と自己開発・マーケティング学科)		履修年次	2
		単位	2
欧陽 菲、大瀧 恵、古賀 智久、谷口 元、水島 章広、宮内 ミナミ、渡邊 直子		配当期	前
		授業方法	演習/対面
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>本科目で取り組む調査研究をベースにした学習方法を Inquiry-Based Learning(IBL)と呼ぶ。IBL は、初年次の Project Based Learning(PBL) 同様、Active Learning の代表的手法の1つであり、特にリテラシーの情報収集力・分析力を養うのに有効となる。IBL において企業分析の視点と手法を学習することは、将来、キャリア(就職先) 選択を検討する際にも役立つものとなる。</p> <p>基礎学力向上のための学習としては、授業外学習で指定された範囲を自習し、確認テストを行う。次に、授業外学習の成果を確かめるため、授業中に小テストを受験する。このように、自習→確認テスト→(必要があれば自習)→小テスト→(必要があればさらに自習)のサイクルを繰り返すことによって、着実に基礎学力を身に付けていくことができる。なお、授業外学習として実施する確認テスト(全 9 回)は、すべて manaba 上で実施する。</p> <p>さらに、社会人向けに開発された「ビジネスゲーム」を行い、ジェネリックスキル(特に観察力、コミュニケーション力)養成の総仕上げを行う。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎ゼミ I・II で学習した①アカデミックスキルおよび②ジェネリックスキル、基礎教育科目・実務教育科目で学習した③専門知識を統合的に活用することができる。</li> <li>・ 研究倫理を身につけ、調査研究報告書(レポート)の書き方を修得している。</li> <li>・ 基礎的な企業分析を行う力を身につけ、企業分析結果をもとに自身のキャリア選択を考えることができる。</li> <li>・ 自らの課題に取り組み、必要な知識、技能、能力の養成に継続して取り組むことができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
出席と課題を重視する。全出席を前提とする。授業出席の評価には参画度・貢献度も含まれる。課題についての詳細は下記「提出課題の指示」参照。課題も全課題提出が前提となる。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス Inquiry-Based Learning① 課題提示	8	Inquiry-Based Learning⑤ 中間報告
2	Inquiry-Based Learning② 分析の視点、情報収集方法の検討	9	ビジネスゲーム II ～コミュニケーションゲーム
3	基礎学力の確認(模擬試験の実施)	10	Inquiry-Based Learning⑥ 最終報告
4	Inquiry-Based Learning③ 文献調査の結果共有分析の視点の絞り込み	11	基礎学力の確認(解説)
5	研究倫理研究報告書(レポート)の書き方	12	Inquiry-Based Learning⑦ 講評、優秀報告の発表
6	Inquiry-Based Learning④ ドラフトの相互フィードバック	13	大学生活における自己開発計画の作成
7	ビジネスゲーム I ～イメージ交換ゲーム	14	前学期振り返り総括 1 分間スピーチ